



あんずだより

秋号



～あんずの保育看護～

令和2年11月

私たちあんず職員は、お子さんが帰られる時、つい「またね」と声をかけてしまいそうになります。病児保育室では「またね」＝「また病気になってね」という意味合いになりかねないので、そこはぐっとこらえて、「お大事に」と声をかけています。でも多くのお子さんは、「また来るねー！」「また明日～！」と笑顔で答えてくれるので、そんな時は「また病気になった時は来てねー」と声をかけています。

あの子元気にしてるかな？久しぶりに会いたいな・・・と思っても、大声で「皆さんどんどん病気になって病児保育室に来てください！！」とは言えないのが病児保育室です。でも本当は会いたい気持ちでいっぱいです。なので、久しぶりの予約が入ると、職員皆で心配しつつも内心ワクワクしながら待っているのです。

あんずに預けて新発見？！



あんずではお迎え時、お子さんの様子を詳しくお伝えしています。病児保育室は通常、個別、又は少人数での保育を行っています。ですので、職員が一日中お子さんと一緒に過ごす中、保護者の方も知らないお子さんの様子を発見できる場合があります。例えば、「今日お母さんがわたしの為に朝早起きして、美味しいお弁当作ってくれたんだよ」と嬉しそうに話していましたよ。と帰りにお母さんにお伝えすると、「そんなこと一度も言われたことないのに、そんな風に思ってくれてたんですね」と嬉しそうなお母さん。一日ブロック遊びに夢中な男の子。とても立派な作品を作り、お母さんが来るまで壊さないで！と帰りに見せるのを楽しみにしていました。それを見たお母さんは「こんなに凄いのが作れるの？！家にはないおもちゃだし、こんなの作れるなんてびっくりしました」と感動して写真を撮って帰られます。小さなお子さんでは、初めての一步をあんずで発見してしまったこともあります。一日そばで保育看護していて気づいたことや感じたこと、気をつけたいポイントなど、お家に帰ってからも家庭看護に繋げていけるよう、お子様の様子をしっかりと記録し、お伝えしていきます。

あんずもすっかり秋仕様



現在病児保育室あんずでは、子ども同士が同じ部屋にならないよう、できる限り個別対応をとっています。しかし、今後利用児が増えてくると、同じ病気のお子さん同士、同室になる可能性もあることを、ご了承ください。なるべく多くの方が利用できるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

